

会 議 の 概 要

1 会 議 名 (審議会等名)	宝塚市廃棄物減量等推進審議会
2 開 催 日 時	令和6年 2月29日 午前 10時～12時
3 開 催 場 所	本庁 第二庁舎 会議室 A・B
4 出 席 委 員	池田委員、花嶋委員、新熊委員、平井委員、松本委員、鈴木委員、中山委員、本田委員、川口委員、田中委員、鳥井委員、沖元委員、幡多委員、築瀬委員、久原委員
5 公開不可・一部不可 の場合の理由	
6 傍 聴 者 数	0 人
7 公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可
8 議題及び結果の概要	<p>(1) 議題</p> <p>1 事業系のインセンティブについて 事業系ごみ指定袋について</p> <p>2 一般廃棄物処理手数料の見直し（答申案）について</p> <p>(2) 審議結果の概要</p> <p>1 答申案の決定</p> <p>(3) 審議における主な意見</p> <p>【1 事業系のインセンティブについて 事業系ごみ指定袋について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみ指定袋は？ → ごみの減量に効果的であるので今後も調査研究を行い、実施について検討していきます。</li> <li>・事業系のごみを減らすためには？ → 業種ごとのごみの減らし方を提案していくために、業種や類型団体の情報を集めて調査していきます。紙ごみのリサイクルについても引き続き調査を行います。また、啓発を行っていきます。</li> </ul> <p>【1 一般廃棄物処理手数料の見直し（答申）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・答申案は？ → （別紙1のとおり） 市の答申案について正式に答申として市長に提出します。</li> <li>・答申提出日は？ → 令和6年3月22日を予定。</li> <li>・本件審議内容は、了承されました。</li> </ul>

## 審議会質疑

- (会 長) 宝塚市の事業系排出者の特徴はどのようになっていますか？
- (事務局) 中小企業、零細企業がほとんどで、産業廃棄物は少なく、事業系の一般廃棄物がほとんどと考えています。一般廃棄物収集運搬許可業者と契約していない事業者をどのように把握していくかが今後の課題です。
- (会 長) 契約していない事業者は、家庭系ごみとして出しているのでしょうか？
- (事務局) ネット事業者など、ごみがほとんど出していない事業者もあると思います。
- (委 員) 事業系一般廃棄物収集で本来産業廃棄物である、かん、びんとの切り分けはどのようになっているのでしょうか？家庭系のごみとして出されたり、事業系の燃やすごみとして出されるよりは、事業系資源物として出される方がよいとは思いますが、正確には産業廃棄物ではないのでしょうか？
- (事務局) 法律の解釈として一般廃棄物として扱っていると思われま。産業廃棄物の扱いが近年より厳密になってきています。産業廃棄物は処理料金が高額であることもあり、急に産業廃棄物に切り替えることは難しいと思いますが、今後対応を考えていきます。
- (委 員) 処理料の金額を上げすぎると家庭系のごみとして出す事業者が増えてしまわないかと考えます。
- (委 員) 指定袋にするとごみの処理額はどう変わりますか？
- (事務局) 収集業者へ処理料と収集運搬費を払っていたのが、処理料は袋代として払うことになり、収集業者へは収集運搬費が必要となります。
- (委 員) 事業者としては、ごみの減量がわかりやすくなると思います。費用が安くなるなら、事業者も納得するのではないのでしょうか。
- (事務局) 許可業者に現状を確認し、今後も研究していきます。
- (委 員) 指定袋にする効果は、高いと考えます。将来的にこうしていきたいというアナウンスは必要だと思います。
- (事務局) 一般廃棄物処理基本計画の減量化計画の中で議論いただく予定です。
- (委 員) 事業系のごみ袋を有料化すると家庭系のごみ袋も有料化するのではないのでしょうか？
- (事務局) 全国的には6割程度の自治体が有料化しています。
- (委 員) 国としては、有料化を進めています。ごみを減らすには有料化は有効な手段だと考えます。
- (会 長) 事業系の紙について資源化がされていないというのはどういうことですか？
- (事務局) それぞれの事業者でリサイクルされていると考えますが、市としてうまく資源化を推進できていないと考えています。

(会 長) 事業者として紙を溶かす業者と直接契約してリサイクルしています。  
今後ごみを減らしていくには事業所のごみに関する契約を調べておく必要がある  
と思います。

(委 員) 業者ごとに減らし方があると思いますので、業種に応じた方法を提案するのが  
よいのではないのでしょうか？また、減量したことをほめる方法なども必要だと  
思います。

(会 長) 処理手数料は上がりますが、分別したら安くなるようにしていきたいというこ  
とでよろしいでしょうか。事業系ごみ袋を有料化するなども検討してください。  
業種とかビルなどの類型に応じて情報を集めて研究してください。  
オフィスの紙ごみの資源化ルートなども検討が必要だと思います。

(委 員) 資源もまとまればお金になるが、ばらばらだとお金にならないので収集の方法  
を考える必要があります。

\*このほか、複数の委員よりスプレー缶に関する質問や、紙のリサイクル・  
分別の啓発をより一層行っていくようにご意見がありました。

(会 長) 今回の手数料の見直しについては、値上げだけでなく、ごみを減らすにはどうし  
たらいいかについて考えてきました。

まとめとして、資源ごみの手数料を燃やすごみより安くしたので、分別して燃や  
すごみの量を減らしてもらおう。収集運搬業者も分別収集をしてもらおう。紙ごみに  
ついては、調査が不十分なので引き続き調査が必要。啓発活動を十分に行うこと。  
ごみ袋の有料化は減量効果が大きいので、すぐに導入することはできないが調査  
研究を行っていく、ということではよろしいでしょうか。

市の答申案を了承ということではよろしいですか？

(委 員) 異議なし

(会 長) 答申は、後日市長に提出します。